

学校名： 飯塚市立飯塚第一中学校

授業者： 平山 紘大

1. 単元名「漫画表現の豊かさ」 3 / 4 時間

2. 授業のねらい

本題材では、日本の漫画と「鳥獣人物戯画卷」に見られる表現方法の共通点をみつける鑑賞活動を通して、日本の伝統的な表現方法を継承してきた漫画表現の特徴やよさに気づき、日本の美術や文化に対する理解を深めることがねらいである。漫画は、多くの生徒が物語内容を楽しむ他、登場人物を描いたり、漫画が用いられている文具等を購入したりして親しんでいる。また近年日本の漫画が海外で発売されたり、映像表現に漫画的な表現が取り入れられたりと、漫画が優れた表現であることが広がっている。漫画表現を、過去の日本の美術作品と比較しながら特徴や効果について気づいたことや感じたこと、考えたことを話し合う活動を通じて、伝統の継承と創造という視点からも日本の美術や文化に対する理解を深めさせることが目的である。

【本時の主眼】

日本の漫画と「鳥獣人物戯画卷」を比較しながら鑑賞することによって、日本の伝統的な表現方法を継承した漫画表現の特徴やよさに気づき、自分の言葉で説明することができる。

3. 単元計画 ⇒ 別紙 単元シートで提案

4. 上記の一連の学習で目指すゴール

漫画表現を、過去の日本の美術作品と比較しながら味わい、特徴や効果について話し合う活動を通じて、伝統の継承と創造という視点からも日本の美術や文化に対する理解を深めさせることができる。

5. 児童生徒の既有知識、学習の予想

学習の予想としては、エキスパート活動で3つのグループに分けて考えさせることで、鑑賞する視点が整理されるであろう。さらにジグソー活動で他のグループからの意見を統合することで、日本の伝統的な表現方法を継承してきた漫画表現の特徴やよさにより深く気付くことができるであろう。

6. 期待する解の要素（本時の最後に生徒が上記の課題に答えるとき、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれていてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための基準）

- ・登場人物がデフォルメされているので、読みやすい。
- ・日本人は文章を右から左へ読むことに慣れ親しんでおり、日本の漫画も「鳥獣人物戯画卷」も右から左にストーリーが流れるという共通点がある。
- ・日本の漫画が読みやすいのは、右から左へ視点の流れが誘導されるように登場人物が配置されており、日本人が昔から文章や絵巻を読む方向と同じだからではないか。

A	B	C
日本の漫画と「鳥獣人物戯画卷」を比較しながら鑑賞し、日本の伝統的な表現方法を継承した漫画表現の特徴やよさに気づき、その理由や背景についても考え、自分なりの言葉で説明することができる。	日本の漫画と「鳥獣人物戯画卷」を比較しながら鑑賞し、日本の伝統的な表現方法を継承した漫画表現の特徴やよさに気づき、自分なりの言葉で説明することができる。	日本の漫画と「鳥獣人物戯画卷」を比較しながら鑑賞し、日本の伝統的な表現方法を継承した漫画表現の特徴やよさに気づき、が不十分である。

7. 学習のデザイン

時間	学習活動	支援等
5分	1 日本の漫画の一場面を鑑賞する。	○資料となる漫画の一場面を黒板に掲示し、その漫画が1984年の掲載以来、国内外を問わず現在も人気であることを知らせる。
5分	2 課題を確認する。 【課題】	○日本の漫画が人気である理由の一つに読みやすさにあることを知らせ、本時の課題を確認させる。
25分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">日本の漫画は、なぜ読みやすい？</div> 3 【エキスパート活動】 3つの課題に分かれてエキスパート活動を行う。 ・エキスパートA 【漫画の表現技法①（進行方向）】 右から左へストーリーが進んでいくことに気づく。 ・エキスパートB 【漫画の表現技法②（デフォルメ）】 漫画のキャラクターは、単純化や誇張されている。 ・エキスパートC 【漫画の表現技法③（キャラクターの配置）】 計画的に視点の流れが誘導されるように登場人物が配置されている。	○本時の課題を解決する鍵は、日本の漫画と「鳥獣人物戯画卷」の共通点をみつけることであることを知らせる。 ○最初の座席はエキスパートごとに集めて座らせる。 ○各エキスパートで異なった資料を用意し、それぞれの資料に与えられた課題に対して、事前に確認しておいたエキスパート班で挑ませる。 ○一人ひとりがジグソー活動で説明できるように、互いに内容を確認するよう促す。
10分	4 個に戻り、課題に対する考えを書く。	○ワークシートやメモ、意見交換の内容をもとに学習を振り返り、本時の課題に対する個人の考えを記入させる。
5分	5 単元シートに、本時の振り返りを記入し、次時の学習内容を確認する。	○ジグソー活動の班は3人組とし、事前にグループのメンバーや、移動の手順について伝えておく。
本時 5分 20分	1 日本の漫画の一場面と「鳥獣人物戯画卷」を鑑賞し、前時に行ったエキスパート活動を振り返る。 2 【ジグソー活動】 エキスパート活動の考えを統合して、課題を解決していく。 ① それぞれのエキスパートで気付いた特徴を班員に伝え、課題について意見交流する。	○日本の漫画と「鳥獣人物戯画卷」の共通点をみつけることが課題解決に繋がることを再度確認する。 ○前時にエキスパート活動で話し合い、ジグソー班で伝える内容を確認させる。 ○エキスパートAから順番に3分ずつ説明する時間を与え、エキスパートCまで終わったグループから課題を解くよう伝える。

10分	<p>② 日本の漫画が読みやすい理由についてジグソー班で考え、まとめる。</p>	<p>○補助発問を行い、日本人が昔から文章を右から左へ読むことを基本としていることに気づかせ、課題の解決に向けた糸口を掴ませる。 《補助発問》「小説はどう読む？」</p>
5分	<p>3 【クロストーク活動】課題について各グループでまとめた考えを発表する。 (予想される解) ・日本の漫画が読みやすいのは、右から左へ視点の流れが誘導されるように登場人物が配置されており、日本人が昔から文章や絵巻を読む方向と同じだからではないか。</p>	<p>○キーワードとなる生徒の発言を教師が繰り返し強調して発言することで、他の生徒の発言と比べての微妙な差異に気付かせる。</p>
5分	<p>4 日本の漫画がどのような点で世界から注目されているかをみつける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ： 作品を比較しながら鑑賞することによって日本の伝統的な表現方法を継承した漫画表現の特徴やよさについて気づくことができる。</p> </div>	<p>○漫画表現が世界で注目され、参考にされている例を示し、過去の日本の美術の特徴的な表現が、漫画表現や、さらに世界の視覚表現の新たな創造に繋がっていることを知らせる。</p>
10分	<p>5 ジグソー活動を通して気づけたことをプリントにまとめるとともに、単元シートに本時の振り返りを記入し、次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○比較して発見できたことや各班の意見を聞いて気付いたことを自分の言葉でまとめ、本時の学習を振り返らせるとともに、単元シートを用いて次時の学習内容を確認させる。</p>

8. 各エキスパート・ジグソー<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパート・ジグソーで押さえないポイント、そのために扱う内容・活動>

- 日本の伝統的な表現方法を継承した漫画表現の特徴（よさ）を見つけやすくするために、エキスパート活動を行い、作品を鑑賞する視点を整理する。
A・「漫画の表現技法①（進行方向）」から、右から左にストーリーが進んでいくことに気づく。
B・「漫画の表現技法②（デフォルメ）」から、漫画のキャラクターは、単純化や誇張されていることに気づく。
C・「漫画の表現技法③（キャラクターの配置）」から、計画的に視点の流れが誘導されるように登場人物が配置されていることに気づく。
- 本時の課題を解決するために、ジグソー活動を行い、自分の考えと違う視点を持った仲間の考えを比較吟味しながら自分の考えを見直し、よりよい解の表現を作り上げる。

9. ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

協調学習で得た鑑賞の視点を活用して生徒自身が愛読する漫画を鑑賞する。その漫画に使われる漫画表現のよさや特徴、作者の心情や意図を読み取り、自分なりの言葉でまとめ、説明する活動を行う。

10. グループの人数や組み方

ジグソー班、エキスパート班ともに男女混合の3～4人班9グループ。
授業開始時は一斉授業の隊形で着席→その後ジグソー班の座席に移動して考える→クロストークを行う。

